Translation Recapety PATENT COOPERATION TREATY

PCT

10/506669

INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

(PCT Article 36 and Rule 70)

Applicant's or agent's file reference 03-005WO	FOR FURTHER ACTION	See Notification of Transmittal of International Preliminary Examination Report (Form PCT/IPEA/416)						
International application No.	International filing date (day/n							
PCT/JP2003/002547 International Patent Classification (IPC) or n	o5 March 2003 (05.0	03.2003) 05 March 2002 (05.03.2002)						
B27N 3/00, 1/00	ational classification and if C							
Applicant								
M	IIKAZUKI NAPLAS KIO	JYOKUMIAI						
This international preliminary exam and is transmitted to the applicant acts.		d by this International Preliminary Examining Authority						
2. This REPORT consists of a total of	sheets, including	ing this cover sheet.						
amended and are the basis fo	ted by ANNEXES, i.e., sheets or this report and/or sheets contain Administrative Instructions und	of the description, claims and/or drawings which have been aining rectifications made before this Authority (see Rule der the PCT).						
These annexes consist of a to	tal of 14 sheets.							
3. This report contains indications rela	ting to the following items:							
I Basis of the report								
II Priority								
III Non-establishment	of opinion with regard to novelt	ty, inventive step and industrial applicability						
IV Lack of unity of invention								
V Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement								
VI Certain documents of	Contain de sum unte situal							
VII Certain defects in th	VII Certain defects in the international application							
VIII Certain observations	VIII Certain observations on the international application							
Date of submission of the demand	Date o	of completion of this report						
25 April 2003 (25.04.2	2003)	12 May 2004 (12.05.2004)						
Name and mailing address of the IPEA/JP	Author	orized officer						
Facsimile No.	Teleph	hone No.						

INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

PCT/JP2003/002547

L Basis	of the re	eport			
1. With	regard to	the elements of the international applic	ation:*		
	the inte	rnational application as originally filed			
茵	the des	cription:			
	pages	•	, 6-8, 11-15	, 17-21	, as originally filed
	pages		-1		, filed with the demand
	pages	2, 2/1, 3, 3/1, 4, 5, 9, 9/1, 10,	16	, filed with the letter of	08 December 2003 (08.12.2003)
	411-:				
	the clai		£ 15 20	24	an a said a line Clad
	pages				, as originally filed r with any statement under Article 19
	pages			, as amended (togethe	, filed with the demand
•	pages	1 2 16 17		61. 4	
·	pages	1, 2, 10, 17	·	, filed with the letter of _	08 December 2003 (08.12.2003)
\boxtimes	the dra	wings:			•
	pages	<u> </u>	1/4-4/-		, as originally filed
	pages				, filed with the demand
	pages			, filed with the letter of _	
	the seque	ence listing part of the description:			
_	pages	•			, as originally filed
	pages				, filed with the demand
	pages				
	the lan	its were available or furnished to this Auguage of a translation furnished for the guage of publication of the international aguage of the translation furnished for the control of the co	ourposes of i	nternational search (under R (under Rule 48.3(b)).	
3. Wit prel	h regard iminary e	to any nucleotide and/or amino ac xamination was carried out on the basis	cid sequence of the seque	ce disclosed in the interna- nce listing:	ational application, the international
	contair	ned in the international application in wr	itten form.		
		gether with the international application	•	r readable form.	
닏	furnish	ed subsequently to this Authority in wri	tten form.		
닏	furnish	ed subsequently to this Authority in con	nputer reada	ble form.	
		tatement that the subsequently furnish the state of the subsequently furnished as been furnished as been furnished.		sequence listing does no	t go beyond the disclosure in the
		atement that the information recorded urnished.	in compute	r readable form is identica	l to the written sequence listing has
4. 🛚	The an	nendments have resulted in the cancellat	ion of:		
		the description, pages			
	\bowtie	the claims, Nos. 3, 4, 18, 19			
		the drawings, sheets/fig			
5.		port has been established as if (some of the disclosure as filed, as indicated in the			since they have been considered to go
in th	iis repor	sheets which have been furnished to the t as "originally filed" and are not a	receiving C nnexed to t	Office in response to an invit his report since they do n	ation under Article 14 are referred to oot contain amendments (Rule 70.16
	70.17). replacem	ent sheet containing such amendments n	nust be refer	red to under item I and ann	exed to this report.



International application No.
PCT/JP03/02547

tement			
Novelty (N)	Claims	1, 2, 5-17, 20-24	YE
	Claims		NO
Inventive step (IS)	Claims	1, 2, 5-17, 20-24	YE
	Claims		NO
Industrial applicability (IA)	Claims	1, 2, 5-17, 20-24	YE
	Claims		NO

2. Citations and explanations

Claims 1, 2, 5-17 and 20-24

A feature wherein vegetable fiber powder is mixed with a vegetable binder which is a mixture of starch powder and water-soluble gum powder, and additionally with water, to obtain a vegetable-fiber powder material for molding, and the material is fed to an injection molding machine or an extruding molding machine for molding in the form of powder, is not described in any of the documents listed in the ISR that had been published prior to the filing of the present application.

Rec'd PCT/PTO 03 SEP 2004

0/506669

PCT

国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人

REC'D 2.7	MAY 2004
WIPO	PCT

2 B

9318

3235

出願人又は代理人	
の書類記号 03-005WO	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。
国際出願番号 PCT/JP03/02547	国際出願日 (日.月.年) 05.03.2003 優先日 (日.月.年) 05.03.2002
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' B27N3/00	, 1/00
出願人 (氏名又は名称) 三日月ナプラス企	業組合
2. この国際予備審査報告は、この表紙 x この国際予備審査報告には、附 査機関に対してした訂正を含む (PCT規則70.16及びPCT9	際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。を含めて全部で 3 ページからなる。 属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。 「施細則第607号参照) ページである。
3. この国際予備審査報告は、次の内容	
I × 国際予備審査報告の基礎	
II 優先権	
Ⅲ	の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
IV 開の単一性の欠如	
V x PCT35条(2)に規定する の文献及び説明 VI ある種の引用文献	新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるため
VII 国際出願の不備	
VII 国際出願に対する意見	
国際予備審査の請求書を受理した日 25.04.2003	国際予備審査報告を作成した日 12.05.2004

特許庁審査官(権限のある職員)

誠

電話番号 03-3581-1101 内線

坂 田

様式PCT/IPEA/409 (扱紙) (1998年7月)

日本国特許庁 (IPEA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区設が関三丁目4番3号

名称及びあて先

国際予備審査報告

国際出願番号 PCT/JP03/02547

I. 🗷	際予備審査等	報告の	基礎								
	.の国際予備? 答するため! CT規則70.	~ ~~	告は下記の出願 された差し替え . 17)	重む類に基 上用紙は、	づいて作成さ	された。 こおいて	(法第6条 「出願時」	(PCT とし、オ	「14条) ド報告書に	 の規定に は添付し	基づく命令に ない。
	出願時の国際	条出願	事類		•		•				-
	明細書 明細書 明細書	第 _ 第 _	1, 6-8, 11-15, 2, 2/1, 3, 3/1, 4, 5, 9		ページ、 ページ、 ページ、	国際	寺に提出され 予備審査の腎 . 12. 2003	れたもの 情求書と 	: 共に提出		の 出されたもの
	請求の範囲 請求の範囲 請求の範囲 請求の範囲	第第第第	5-15, 20-2 1, 2, 16, 1		項、 項、 項、 項、	PCT 国際予	学に提出され 19条の表 が備審査の語 12.2003	規定に基 情求書と	づき補正 共に提出	されたも	の の 出されたもの
	図面 図面 図面	第一第一	1/4-4		_ページ /図 、 _ページ/図、 _ページ/図、 _	国際子	テに提出され ・備審査の計	いたもの 背求書と	, 共に提出	されたもの	
ļ	明細書の配列 明細書の配列 明細書の配列	表の記念の	部分 第		ページ、 ページ、 ページ、	国際予	に提出され 備審査の請	請求書と 	共に提出	されたもの と共に提!	の [.] 出されたもの
<u> </u>	」 P C T 規則] 国際予備者 D国際出願は	のため IJ48.3 評査の 、ヌク	ー に提出された P (b) にいう国際 ために提出され ノレオチド又は	公開の言言 ルた P C T アミノ酸酯	吾 規則55. 2また 己列を含んで	う翻訳文 とは55.3%	こいう翻訳			審査報告 8	を行った。
] この国際出] 出願後に、] 出願後に、] 出願後に携	お願と この この と と と と と と と と と る こ の に る に る に る ら る と る と る ら る ら る る る る る る る る る る	含まれる書面に 共に提出された 国際予備審査(国際予備審査(を書面による配 た 表に記載した配	磁気ディ または調 または調 列表が出	スクによる 査)機関に 査)機関に 振 頭時における	出された 出された 国際出願	⊆磁気ディス 質の開示の額	スクによ 6囲を起	る配列表 【える事項	を含まな	
明 x 諸 図 S. これ	日細書 登 日求の範囲 登 I面 E の国際予備するので、その	第 第 図 面 査報 を補正	類が削除された 3, 4, 18, 第 告は、補充個に がされなかった の際に考慮しな	19 」	うに、補正が			示の範 c) この	田を越えて O補正を含	∵されたも ☆む差し替	のと認めら え用紙は上
			·			·					

国際予備審查報告

国際出願番号 PCT/JP03/02547

V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性 文献及び説明	についての法第12第	e (PCT35条(2))	に定める見解、それ	を裏付ける
1. 見解				
新規性(N)		1, 2, 5-	17, 20-24	有
進歩性(IS)	請求の範囲	1, 2, 5-	17, 20-24	有 無
在業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 請求の範囲	1, 2, 5-	17, 20-24	有
	14 W. A. A. C. HII			
2. 文献及び説明(PCT規則70.7)				
請求の範囲1,2,5-17, 植物性繊維質粉体と、澱粉粉を混合し、さらに水を混合して出成型機又は押出成形機に投入	20-24 体と水溶性ガム	質粉体の混合物	である植物性紀	告別と
を混合し、さらに水を混合して出成型機又は押出成形機に投入 先日前に公表された文献のいず	得られた他物性 して成形する点 れにも記載され	概能質成形材料 は、国際調査報 ていない。	初体を、初体の 告に列記した、	本願優
	101-0 HB-754 C 110			
•				
			•	

とする工業製品が記載されている。

特開2001-342354号公報には、少なくともこんにゃく粉と植物性 繊維の粉体と水とを混合して混練し、これを所望の型に流しこんだ後に、加圧 加熱成形することを特徴とする成形品の製造方法が記載されている。

5 〔発明の開示〕

10

15

20

25

多糖類等のハイドロコロイドを主原料にして製造された生分解性プラスチックには、化学合成品を原料にしたプラスチックに比べ製造コストが著しく高いという問題がある。特表平11-504950号公報の工業製品には、原材料である繊維質の寸法が大きく、原材料に混合する水分量が多いので、射出成形による大量生産に適さないという問題がある。特開2001-342354号公報の生分解性繊維質成形体の製造方法には、加圧加熱成形なので大量生産に適さないという問題がある。

本発明は上記問題に鑑みてなされたものであり、生分解性繊維質成形体を安価に大量生産することが可能な生分解性繊維質成形体の製造方法を提供することを目的とする。

本発明においては、植物性繊維質粉体と、澱粉粉体と水溶性ガム質粉体の混合物である植物性結合剤粉体とを混合し、当該混合物と水を混合して植物性繊維質成形材料粉体を形成し、当該植物性繊維質成形材料粉体を、粉体のまま射出成形機又は押出成形機に投入して成形することを特徴とする生分解性繊維質成形体の製造方法を提供する。

植物性結合剤粉体として、澱粉粉体と水溶性ガム質粉体との混合物を使用すると、射出成形法における射出時に或いは射出成形法と同様の射出工程を有するインジェクションプレス成形法等における射出時に、好適に流動化して型に隙間なく充填可能な成形材料を、植物性結合剤粉体として澱粉粉体のみを使用する場合に比べて、水の混合量を抑制しつつ得ることができる。植物性繊維質粉体と、澱粉粉体と水溶性ガム質粉体の混合物である植物性結合剤粉体とを混合し、当該混合物と水を混合して形成した植物性繊維質成形材料粉体は、適度の粘度と適度の

流動性とを備えており、射出成形機のスクリューによって確実に搬送されるので、スクリューによる搬送性を高めるための顆粒化等の予備成形を要さない。従って、植物性繊維質成形材料粉体を射出成形機に直接投入して最終成形することができる。前記成形材料粉体を成形した生分解性繊維質成形体は、水分含有量が少ないので脱型後の乾燥時間が短い。従って、本発明に係る方法によれば、生分解性繊維質成形体を安価に大量生産することができる。本発明は押出成形にも適用可能である。

10

5

15

20

本発明に係る方法で製造された植物性繊維質成形体は、合成樹脂を全く含まず、 自然環境下で生分解されて土壌と一体化して土壌成分となる。また、容器リサイ クル法下においても、一般廃棄物として処理可能である。

ガム質の配合割合は、植物性結合剤粉体総重量中の15%以下とするのが望ま しい。ガム質の配合割合が15重量%を超えると脱型時の離型性が低下する。

5

10

15

20

25

本発明においては、植物性繊維質粉体2~7重量部と、澱粉粉体と水溶性ガム質粉体の混合物である植物性結合剤粉体1重量部とを混合し、当該混合物3~9重量部と水1重量部とを混合して植物性繊維質成形材料粉体を形成し、当該植物性繊維質成形材料粉体を、粉体のまま射出成形機又は押出成形機に投入して成形することを特徴とする生分解性繊維質成形体の製造方法を提供する。

植物性繊維質粉体 2 ~ 7 重量部と、澱粉粉体と水溶性ガム質粉体の混合物である植物性結合剤粉体 1 重量部とを混合し、当該混合物 3 ~ 9 重量部と水 1 重量部とを混合することにより、射出成形法における射出時に或いは射出成形法と同様の射出工程を有するインジェクションプレス成形法等における射出時に、好適に流動化して型に隙間なく充填可能な成形材料粉体を、得ることができる。前記成形材料粉体は適度の粘度と適度の流動性とを備えており、射出成形機のスクリューによって確実に搬送されるので、スクリューによる搬送性を高めるための顆粒化等の予備成形を要さない。従って、前記成形材料粉体を射出成形機に直接投入して最終成形することができる。前記成形材料粉体は水分含有量が少ないので、

当該成形材料粉体を成形した生分解性繊維質成形体も、水分含有量が少なく脱型後の乾燥時間が短い。従って、本発明に係る方法によれば、生分解性繊維質成形体を安価に大量生産することができる。本発明は押出成形にも適用可能である。

本発明に係る方法で製造された植物性繊維質成形体は、合成樹脂を全く含まず、 自然環境下で生分解されて土壌と一体化して土壌成分となる。また、容器リサイ クル法下においても、一般廃棄物として処理可能である。

植物性結合剤粉体1重量部に混合される植物性繊維質粉体の重量部が2未満であると、成形体が金型に強く付着して脱型が困難になる。植物性結合剤粉体1重

量部に混合される植物性繊維質粉体の重量部が7を超えると、成形体の強度が低下する。水1重量部に混合される植物性繊維質粉体と植物性結合剤粉体との混合物の重量部が3未満であると、成形体の強度が低下して脱型時に支障を来す可能

5

10

15

20

性があり、水1重量部に混合される植物性繊維質粉体と植物性結合剤粉体との混合物の重量部が9を超えると、成形材料の流動性が低下して型に隙間無く充填するのが困難になる。

植物性繊維質粉体として、木,草,葉,籾殼,米糠,果実皮,コーヒー豆抽出 5 残渣等毒性の無いあらゆる植物性繊維質素材の粉体又はこれらの混合粉体を使用 することができる。

植物性結合剤粉体として、毒性の無い澱粉粉体、ガム質粉体、又はこれらの混合粉体を使用することができる。

植物性繊維質粉体と植物性結合剤粉体と水とを混合して得られた成形材料に、 10 天然物由来の着色料や脂溶性成分等を添加しても良い。

本発明に係る方法で得られる生分解性繊維質成形体として、包装トレー、箸や椀等の食器類、食品原材料容器、照明器具類、装飾品類、敷物類、玩具類、家具調度品類、履き物、灰皿、植木鉢、文房具類、運動用具類、自動車内装品、建材等が挙げられる。

15

澱粉粉体は安価に且つ大量に入手できるので、植物性繊維質成形体を安価に大 量生産するのに適している。

澱粉粉体として、小麦粉澱粉,馬鈴薯澱粉,コーンスターチ,ワキシーコーンスターチ,ハイアミロース澱粉,サゴ澱粉,タピオカ澱粉等毒性の無いあらゆる 20 澱粉の粉体またはこれらの混合粉体を使用することができる。

日本国特許庁 08.12.03

ガム質の配合割合は、植物性結合剤粉体総重量中の15%以下とするのが望ましい。ガム質の配合割合が15重量%を超えると脱型時の離型性が低下する。

5

15

20

水溶性多糖類である水溶性ガム質は、澱粉の糊化を促進し生分解性繊維質成形材料の流動化を促進して加工性を向上させると共に、植物性繊維質粉体が形成する成形品の主要構造を強化する。

本発明の好ましい態様においては、水溶性多糖類は、キサンタンガム, タマリ 10 ンドガム, ジェランガム, カラギーナン, プルラン, グアーガム, ローカストビーンガム, タラガム, ペクチン, アルギン酸および寒天から選ばれる1種又は2種以上である。

キサンタンガム,タマリンドガム,ジェランガム,カラギーナン,プルラン,グアーガム,ローカストビーンガム,タラガム,ペクチン,アルギン酸、寒天等の水溶性多糖類を使用することができる。これらは単独で使用しても良く1種又は2種以上を混合して使用しても良い。

本発明の好ましい態様においては、水溶性多糖類は、キサンタンガムおよびタマリンドガムから選ばれる1種又は2種である。

水溶性多糖類としてキサンタンガム又はタマリンドガムまたはこれらの混合物を使用することにより、射出時の好適な流動性と脱型時の好適な離型性とに特に優れる成形材料が得られる。キサンタンガムとタマリンドガムとの混合物を使用する場合には、タマリンドガムの配合割合を水溶性多糖類総重量中の70%以下とするのが好ましい。

本発明の好ましい態様においては、植物性繊維質粉体の粒度は60~200メ 25 ッシュである。

植物性繊維質粉体の粒度を60メッシュ以下とすることにより、成形工程での型開き時の植物性繊維の膨張爆発を防止することができる。他方、植物性繊維を

率が4~20重量%の植物性繊維質粉体が得られる。

5

15

本発明の好ましい態様においては、植物性繊維質成形材料を60~130℃の 温度で成形する。

植物性繊維質成形材料の温度が60℃未満であると、澱粉が糊化せず、植物性 繊維質成形材料の流動性が低下して充填不足を引き起こす。最悪、成形機ノズル から植物性繊維質成形材料が射出されない場合もある。植物性繊維質成形材料の 温度が130℃を超えると、成形機ノズルからの水蒸気噴出量が増加し、キャビ ティーの端部にガスが溜まり充填不足を引き起こす。

成形温度が60~130℃の低温なので、加工エネルギーが少ないという利点 10 がある。

本発明の好ましい態様においては、植物性繊維質成形材料を予備成形すること なく、最終成形する。

本発明に係る植物性繊維質成形材料は、適度の粘度と適度の流動性とを備えており、射出成形機のスクリューによって確実に搬送されるので、スクリューによる搬送性を高めるための顆粒化等の予備成形を要さない。従って、本発明に係る植物性繊維質成形材料を粉体のまま射出成形機で最終成形することができる。

本発明においては、植物性繊維質粉体と、澱粉粉体と水溶性ガム質粉体との混合物である植物性結合剤粉体と、水との混合物であることを特徴とする射出成形用の生分解性繊維質成形材料粉体を提供する。

20 本発明においては、植物性繊維質粉体と、澱粉粉体と水溶性ガム質粉体との混合物である植物性結合剤粉体と、水との混合物であって、植物性結合剤粉体の重量が植物性繊維質粉体の重量の1/7~1/2であり、水の混合量が混合物総重量の10~25%であることを特徴とする射出成形用又は押出成形用の生分解性繊維質成形材料粉体を提供する。

25 上記組成の生分解性繊維質成形材料粉体は水分含有量が少ないので、当該成形 材料を成形した生分解性繊維質成形体も、水分含有量が少なく脱型後の乾燥時間 が短い。従って、上記組成の成形材料粉体を使用することにより、生分解性繊維 質成形体を安価に大量生産することができる。上記組成の成形材料粉体は、射出 成形や射出成

5

10

15

20

形と同様の射出工程を有するインジェクションプレス成形等に好適である。上記 組成の生分解性繊維質成形材料粉体を押出成形やトランスファー成形や加熱加圧 成形に使用することも可能である。

[図面の簡単な説明]

5 図1は、本発明の実施例に係る生分解性繊維質成形体の製造方法の工程図である。

図2は、本発明の実施例に係る生分解性繊維質成形体の製造方法で使用される ホッパーの断面図である。

図3は、本発明の実施例に係る生分解性繊維質成形体の製造方法で使用される 10 スチーム洗浄機の断面図である。(a)は側断面図であり、(b)は横断面図であ る。 .

図4は、本発明の実施例に係る生分解性繊維質成形体の製造方法で使用される 絞り機の断面図である。

図5は、本発明の実施例に係る生分解性繊維質成形体の製造方法で使用される 15 乾燥機の断面図である。(a)は側断面図であり、(b)は横断面図である。

図6は、本発明の実施例に係る生分解性繊維質成形体の製造方法で使用される 粉砕機の断面図である。

図7は、本発明の実施例に係る生分解性繊維質成形体の製造方法で使用される 分級機の構成図である。

20 図 8 は、本発明の実施例に係る生分解性繊維質成形体の製造方法で使用される 粉砕機の変形例の斜視図である。

[発明を実施するための最良の形態]

本発明の実施例に係る生分解性繊維質成形体の製造方法を説明する。

図1に示すように、自然乾燥により含水率が40~50重量%に低下した木、 5、籾殻、果実皮等毒性の無い植物性繊維質素材をホッパー1に投入する。図2 に示すように、ホッパー1は本体11と、本体11内で水平に延在する軸部材1 2とを備えている。軸部材12には多数の攪拌腕13が取り付けられている。軸 サイクロン集塵機73の仕様等が適正値に設定されることにより、粒度が60~200メッシュの植物性繊維質粉体のみが、効率良くフィルター74に捕獲される。含水率が4~10重量%の植物繊維質粉体を、外気から遮断した環境内で分級することにより、分級工程での植物繊維質粉体の加湿が防止される。フィルター74に捕獲された粒度が60~200メッシュで含水率が4~10重量%の植物繊維質粉体は、搬送パイプ5により混合機8~搬送される。

5

10

15

20

25

混合機 8 において、含水率 4~10 重量%の植物性繊維質粉体と、澱粉粉体とガム質粉体との混合粉体と、水とが混合されて、或いは、含水率 4~10 重量%の植物性繊維質粉体 2~7 重量部と植物性結合剤粉体 1 重量部とが混合され、更に、当該混合物 3~9 重量部と水 1 重量部とが混合されて、射出成形に好適な植物性繊維質成形材料が形成される。

上記植物性繊維質成形材料は、適度の粘度と適度の流動性とを備えており、射 出成形機のスクリューによって確実に搬送されるので、スクリューによる搬送性 を高めるための顆粒化等の予備成形を要さない。従って、前記植物性繊維質成形 材料は粉体のまま搬送パイプ5により搬送されて射出成形機9へ投入され、射出 成形により植物性繊維質成形体に最終成形される。植物性繊維質成形材料は、射 出成形機9のノズルから型へ射出される直前までは、湿った粉体であり所謂流動 体では無いが、射出される際に流動化して、型に隙間無く充填される。

射出成形機9のノズルから射出される際の植物性繊維質成形材料の温度は、60~130℃、好ましくは70~110℃に制御される。植物性繊維質成形材料の温度が60℃未満であると、澱粉が糊化せず、植物性繊維質成形材料の流動性が低下して充填不足を引き起こす。最悪、射出成形機9のノズルから植物性繊維質成形材料が射出されない場合もある。植物性繊維質成形材料の温度が130℃を超えると、射出成形機9のノズルからの水蒸気噴出量が増加し、キャビティーの端部にガスが溜まり充填不足を引き起こす。植物性繊維質成形材料の温度範囲が70~110℃であれば、必要量の植物性繊維質成形材料が射出成形機9のノズルから確実に射出され、且つキャビティーの端部にガスが溜まらないので、確

請求の範囲

- (1)(補正後)植物性繊維質粉体と、澱粉粉体と水溶性ガム質粉体の混合物である植物性結合剤粉体とを混合し、当該混合物と水を混合して植物性繊維質成形材料粉体を形成し、当該植物性繊維質成形材料粉体を、粉体のまま射出成形機又は押出成形機に投入して成形することを特徴とする生分解性繊維質成形体の製造方法。
- (2)(補正後)植物性繊維質粉体2~7重量部と、澱粉粉体と水溶性ガム質粉体の混合物である植物性結合剤粉体1重量部とを混合し、当該混合物3~9重量部と水1重量部とを混合して植物性繊維質成形材料粉体を形成し、当該植物性繊維質成形材料粉体を、粉体のまま射出成形機又は押出成形機に投入して成形することを特徴とする生分解性繊維質成形体の製造方法。
 - (3)削除

(4)削除

15

10

- (5) ガム質が、水溶性多糖類であることを特徴とする請求の範囲第1項又は第 4項に記載の生分解性繊維質成形体の製造方法。
- (6) 水溶性多糖類が、キサンタンガム, タマリンドガム, ジェランガム, カラギーナン, プルラン, グアーガム, ローカストビーンガム, タラガム, ペクチン,
- 20 アルギン酸および寒天から選ばれる1種又は2種以上であることを特徴とする請求の範囲第5項に記載の生分解性繊維質成形体の製造方法。
 - (7) 水溶性多糖類が、キサンタンガムおよびタマリンドガムから選ばれる1種 又は2種であることを特徴とする請求の範囲第5項に記載の生分解性繊維質成形 体の製造方法。
- 25 (8)植物性繊維質粉体の粒度が、60~200メッシュであることを特徴とする請求の範囲第1項乃至第7項の何れか1項に記載の生分解性繊維質成形体の製造方法。

(9) 植物性繊維質粉体の含水率が4~20重量%であることを特徴とする請求の範囲第8項に記載の生分解性繊維質成形体の製造方法。

5

10

15

20

徴とする請求の範囲第1項乃至第14項の何れか1項に記載の生分解性繊維質成 形体の製造方法。

- (16)(補正後)植物性繊維質粉体と、澱粉粉体と水溶性ガム質粉体との混合物である植物性結合剤粉体と、水との混合物であることを特徴とする射出成形用又は押出成形用の生分解性繊維質成形材料粉体。
- (17)(補正後)植物性繊維質粉体と、澱粉粉体と水溶性ガム質粉体の混合物である植物性結合剤粉体と、水との混合物であって、植物性結合剤粉体の重量が植物性繊維質粉体の重量の1/7~1/2であり、水の混合量が混合物総重量の10~25%であることを特徴とする射出成形用又は押出成形用の生分解性繊維質成形材料粉体。
- (18)削除

5

10

- (19)削除
- 15 (20) ガム質が、水溶性多糖類であることを特徴とする請求の範囲第16項又 は第19項に記載の生分解性繊維質成形材料。
 - (21) 水溶性多糖類が、キサンタンガム,タマリンドガム,ジェランガム,カラギーナン,プルラン,グアーガム,ローカストビーンガム,タラガム,ペクチン,アルギン酸および寒天から選ばれる1種又は2種以上であることを特徴とする請求の範囲第20項に記載の生分解性繊維質成形材料。
 - (22)水溶性多糖類が、キサンタンガムおよびタマリンドガムから選ばれる1種又は2種であることを特徴とする請求の範囲第20項に記載の生分解性繊維質成形材料。
- (23) 植物性繊維質粉体の粒度が、60~200メッシュであることを特徴と 25 する請求の範囲第16項乃至第22項の何れか1項に記載の生分解性繊維質成形 材料。
 - (24)植物性繊維質粉体の含水率が4~20重量%であることを特徴とする請

求の範囲第23項に記載の生分解性繊維質成形材料。